



このページは読者の皆さんからの
声にふれあう場です。
いろいろな声をお寄せください。

パワーもらった花火大会

●百野達夫さん

市のイベントである港花火大会が8月に開催された。

四千発の花火が夜空に乱舞。市内外から訪れた1万人の観客を魅了させた。港の防波堤から打ち上げられた色とりどりの花火が海面にも美しい姿を映し、雰囲気盛り上げた。迫力ある音と光の競演が観客を魅了し、尺玉・大玉が打ち上がるたびに感嘆の声が漏れた。

打ち上げ前には特設ステージで、バンドや太鼓演奏、アマチュア歌手による歌謡ショーなどがあり、お祭りムードを盛り上げた。孫たち3人

串間の話題をお届けできるようがんばりたいと思います。ご意見のありましたフェリーでの観光PRについては、現在、フェリーで串間の観光PRをしていただけよう、商工観光スポーツランド推進課などを中心にお願しているところ。また、地図につきましても現在、新たな、より利用しやすい観光地図の作成に向けて準備をしているところ。なお、ご質問の食品ラップにつきましても、市民生活課からの回答をご紹介します。

串間のじん芥処理場は、ダイオキシン類対策として厳しい排出基準に対処するため、排ガスの高度処理設備を備えた施設となっています。また、定期的にダイオキシン類の測定も行って、その結果についても基準値以下になっています。今後も引き続き施設の管理運営に万全を期し、細心の注意を払いながら日常の運転や維持管理に努めてまいります。

また、農業用の使用済みビニールについては、市では収集、処理をしていますが、

も太鼓演奏に加わったこともあって、ひとしお熱も入った。主催者あいさつでは「東日本大震災被災地の1日も早い復興を願う、『がんばろう日本』の願いを込めた花火大会にしたい」と告げられ、共感を呼び、大きなパワーをもたらした花火大会となった。

百野達夫さん、いつもお便りありがとうございます。昨年は口蹄疫のため、花火大会の開催が9月に延期されましたが、今年は無事、8月に開催できました。やはり夏の花火は清々しいですね。昨年の口蹄疫や3月に起きた東日本大震災など、自然災害が続いていますが、それらに負けないうれしさを感じさせて

市からの文書送付について質問です

●熊給瑞穂さん

5月、市福祉保健課より結核検診受診票が送られてきた。6月、市医療介護課より介護予防事業に関する「基本チェックリスト」作成のためのアンケート調査票が送られてきた。この件で疑問なのは同一住所、夫婦それぞれに郵送されてきたこと。一通にまとめて送れば、経費節約になるの

熊給瑞穂さん、お便りありがとうございます。ご指摘の件について、福祉保健課および医療介護課からの回答をご紹介します。

てくれるお祭りでした。ちなみに今年も花火の写真に挑戦しました。しかし、撮影中に迷子に声をかけられるなど思わぬハプニングがあり、大苦戦。しかし、なんとか写真撮影しました。今年は上空の風が思ったよりも強かったようで、花火が流れてしまっている写真が多く、なかなか難しい撮影でした。でもその風のおかげで普段は見ることができないような形の花火写真に仕上がっているものがあり、自然の起こす偶然を楽しむことができた撮影にもなりました。

串間をもっと元気になりたい
●紅玉りんごさん
外から串間に来て日が浅く知人も少ないので、知らないことが多く、広報は

大変貴重なご意見ありがとうございます。結核検診受診票および基本チェックリストについては、個別に封筒で郵送しています。以前は結核検診受診票については、世帯ごとに一つの封筒で郵送していました。その際に、住民基本台帳上は同一世帯であっても隠居など、本家と住居が別である方々から、受診票が届かないといった連絡を多数いただきました。また、基本チェックリストについては、65歳以上の介護認定を受けられていない高齢者の方を対象に、個々の心身の状態を把握し、早期の介護予防に反映させるためのものです。そのため、夫婦間であっても、個々の事情などがある

以上のようなことから、それぞれ個人宛に郵送させていただきます。また、個別に受診票が届くことで受診意欲を高めることもあることから、今後も個別での郵送とさせていただきますので、ご理解いただけますようお願い致します。

メッセージ・写真投稿コーナー



宮美展の入選おめでとう
絵画の新人美和さん、書道の鈴木美和子さん、写真の百野達夫さん、入選本当におめでとうございます。これからも串間の美術発展のためのご活躍、祈っています。また若い方々も、これから「市美展」「県美展」とありますので、串間芸術発展のための花を咲かせてください。期待しています。どんどん挑戦してください。

赤池レクリエーション
毎年、何をやるのか悩むクラスレクリエーション。今年も、話し合いがなかなか進まない中「はっ」と思いついたのが、最近新設された大東駅前赤池事業所!!早速、相談してみると、心良く受け入れて頂き、話がとても楽しく進みました。10月9日、参加人数70名。赤池の森の中をウォーキング・アウトドアキッチン魔法のお鍋と言われるタッチオープンを使ったお料理。赤池の森林散策から始まったレクリエーション!!なかなか入らない森の中。木々の間からこぼれる太陽の光がとても神秘的で、何百年もたった大きな楠の木に親も子も感動させられました。そして、アウトドアキッチン、普通だったら、簡単な焼肉、カレーなどを思い浮かべるとは思いますが、事業所の方が準備していただいたのが、タッチオープンで作る、鶏の丸焼き、ホットケーキなど…。親子ともども、珍しいお料理にウキウキで取り組みました。火起こしをしたり、普段では体験できない野外授業です。大量のニンニク剥きをした子どもたち、臭い臭いと言いつつも楽しく剥いてましたよ。お料理を作った後は、赤池の川の流れ、木々が揺れる大自然の音を聞きながら、みんなでお楽しみしました。赤池の素晴らしい景色を改めて実感した1日。最高のクラスレクリエーションができました。赤池事業所の皆さん、皆様のおかげで、とても楽しかったです。ありがとうございました。 くすのきっこ

お便り・投稿募集しています。

下記QRコードをご利用ください(紙面に限りがあるので、すべての投稿を掲載することができないことがあります。あらかじめご了承ください)。
①名前(ペンネーム可) ②連絡先
③コメントを必ず添えてください。
◎Eメールアドレス
info@city.kushima.lg.jp



◎伝言メッセージ例
じいじ・ばあばへ
じいじ、ばあば、いつもありがとうございます。たくさんたくさん長生きして、一緒に遊んでね。
アビちゃん

お便りお待ちしております。

スミからスミまで目を通して、地域の話題をいろいろ仕入れていきます。いつも思っていることをちよつと聞いてください。質問
数年前、都市部では塩素系の食品ラップ(塩化ビニール、塩化ビニリデン)は猛毒のダイオキシンを発生させることから、店が引き取ったりしていました。串間ではまだ店頭に並んでいるので驚きました。串間市のゴミ焼却場ではダイオキシンは出ないのでしょうか。農業用のビニールも塩素系が多いようですが、その処理はどうなっているのでしょうか。
意見①
先日、大阪ー志布志間のフェリーを使って串間に来ましたが、船内は鹿児島島の観光ボスターやお土産ばかりで、串間の宣伝がありませんでした。宮崎港から来るよりずっと近いのに、都井岬のボスターくらいあっても良いのでは?と思いました。

ん。地元以外の人にもっと親切なアピールがほしいです。「串間は何もない所だね」と志布志で会った自転車旅行の人が言っていたのが残念でした。意見②
串間は見るからに土が肥えていて、農業も盛んですね。気温が高く生育が早いせいか、野菜の火の通りが早く、皮も柔らかく省エネになります。農薬も少なくすむのではな